

施策2 生涯学習の推進

基本事業1 学習環境の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R3実績	R4実績	R7目標	
2-1 学習環境の充実	市民 生涯学習施設	学習環境、活動の場が整っている。	①「生涯学習のための施設が整備されていて利用しやすい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 24.6	① 21.5	① 40.0	B 昨年度より自主学習団体数や市民一人当たりの年間社会教育施設利用回数が増加しており、生涯学習活動はコロナ禍以前の状況に戻つつある。一方で、市民意識調査における施設整備に対する満足度に低下がみられるが、経年劣化や施設利用の回復に伴い要望が増加したものと考えられる。 引き続き、施設設備の計画的な更新を行うとともに、利用者ニーズを把握し、快適な学習環境を提供する必要がある。
			②自主学習団体数	②団体	② 66	② 83	② 110	
			③市民一人が1年間に社会教育施設を利用した回数	③回	③ 3.7	③ 5.2	③ 4	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R3実績	R4実績	R7目標		
2-1-1 三陸公民館施設管理・運営事業	市民、三陸公民館	安全・快適に学習活動が行える。	・市の業務 施設利用状況の集計業務、使用料の集計収納業務、指定管理者との連絡調整等、施設設備の修繕等 ・指定管理者の業務 貸館業務(受付、使用許可、使用料徴収)、施設の維持管理等業務(管理人業務、清掃、各種設備の保守点検等)	①三陸公民館利用者数 ②施設不具合件数 ③施設不具合対応率	①人 ②件 ③%	① 8,593 ② 10 ③ 40	① 11,698 ② 4 ③ 75	① 6,000 ② 4 ③ 75	A 指定管理者により施設が適切に管理されており、前年度より施設利用者が増加した。施設の不具合にも可能な限り対応し、利用者の安全確保を図っている。	● 令和5年度からは、月曜日が休館日となるため、事業費の削減に繋がったが、利用促進に向け、関係団体や地区公民館等との検討を進める。
2-1-2 図書館運営事業	市民	安全で快適に図書館を利用できる。	・市の業務 図書館協議会の開催、施設・設備の維持管理業務、指定管理者の監督等 ・指定管理者の業務 図書館の運営全般、移動図書館車の維持管理等	①図書館資料の貸出点数 ②図書館資料の貸出者数 ③各種サービスの利用回数	①点 ②人 ③回	① 127,727 ② 22,910 ③ 3,019	① 133,430 ② 23,676 ③ 4,441	① 137,392 ② 24,587 ③ 3,183	B 図書館サービスのさらなる充実と、関連業務の効率化を進めるため、指定管理者制度を導入した。サービスの中核を担う専門職(司書)が2人から4人に増員となった。また、ホームページをリニューアルし、わかりやすい情報提供にも努めている。	○ 指定管理者と連携し、サービスの向上に努めながら、本に触れる機会の提供を継続し、さらなる読書推進を図る。また、指定管理者による施設運営が適切に行われているか監督・指導していく。
2-1-3 博物館施設改修事業	・博物館利用者(市民、基石海岸を訪れる観光客) ・博物館施設、設備	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の改修、整備、大規模な修繕 ※R4 入口階段周りの修繕、多目的ホールの映像音響装置を更新	施設設備の改修済件数	件	0	2	1	A 老朽化により、タイルが剥げていた正面玄関前の階段周り修繕や、講演等の会場となる多目的ホールの映像、音響装置を更新することにより、学習環境の充実が図られた。	○ 市公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、計画的な施設改修を行い、施設の維持と博物館機能の向上を図る。

基本事業2 学習機会の拡充

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R3実績	R4実績	R7目標	
2-2 学習機会の拡充	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・学習情報が容易に入手できる。 ・多様な生涯学習機会に恵まれている。 	①「生涯学習に関する情報が十分提供されている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 22.0	① 19.7	① 40.0	B 市広報紙、HP、SNS等を通じて生涯学習の情報発信を行うとともに、情報化・国際化を踏まえた学習機会の提供に取り組んだ結果、施設利用者や講座参加者については、目標には届かないものの前年度より増加している。 引き続き生涯学習情報について情報を容易に得られるよう、効果的な情報発信を行うとともに、市民ニーズに即した魅力ある学習機会の提供、世代に応じた講座等の実施に取り組む。
			②公民館講座延べ参加者数	②人	② 2,018	② 2,537	② 5,000	
			③市民1人当たりの図書館資料貸出点数	③点	③ 3.8	③ 4.0	③ 4.1	
			④博物館入館者数	④人	④ 4,635	④ 6,298	④ 8,400	
			⑤市民芸術祭観覧者数	⑤人	⑤ 2,846	⑤ 4,686	⑤ 7,000	
			⑥市民文化会館利用者数	⑥人	⑥ 26,448	⑥ 42,443	⑥ 84,000	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	R3実績	R4実績	R7目標		
2-2-1 地区連携講座開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいセミナー：60歳以上の高齢者 ・地区連携講座：市民 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して学習会に参加し、積極的に学んでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいセミナーは、高齢者に対して、多様な学習機会を提供し、学習活動を通じて修得した知識・技能を活用して積極的な社会参加ができるよう高齢者の資質、教養を図ることを目的として開催する。 ・地区連携講座は、市民を対象とし、地域住民相互のコミュニケーション促進と地域住民の生きがいづくりを目的として、地区公民館と連携しながら、生活に役立つ知識や文化、教養、地域課題等に関する多様な学習会を開催する。 ※R4 生きがいセミナーは11地区で53回、地区連携講座は11地区で15回開催。 	①延べ講座参加者数 ②学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	①人 ②%	① 1,062 ② 88	① 1,548 ② 93	① 1,000 ② 80	A 学習計画に当たっては、生きがいづくりや地域課題に対応するため、市内各課や地区公民館等と協力し実施していることから、参加者から高評価を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ●リカレント教育やデジタル社会への適応支援など、時代ニーズに即した参加しやすい講座内容とすることで新たな参加者の確保に努める。また、セミナー等の運営方法を検討し、学習計画の立案等も運営委員会が独自で実施できるように運営委員や各地区との連携を深める。 併せて、他課で実施している同様のセミナー等と連携し、よりよい講座の在り方を検討する。
2-2-2 青少年体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年体験学習：市内年中から中学校3年生までの子ども及びその保護者 ・英語スクール：市内年中から小学2年生までの子ども及びその保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年体験学習は、体験活動を通じて、子どもの自立心や達成感を深める機会やきっかけを提供する。また、普段触れる機会の少ない分野の体験機会を提供し、子どもの好奇心や未知の分野へ挑戦する意欲を育む。 ・英語スクールは、英語への興味関心を深め、コミュニケーションの手段として身につけてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年中から中学校3年生までの子どもを対象に学校や家庭では得難い体験活動の機会を提供(年2回程度) ※R4 陶芸体験教室、ドローンプログラミング体験教室を開催。英語スクールを2回開催 	アンケートによる満足度の高評価の比率	%	97	97	80	A 講座の定員に対する申込みが100%を超えていることから、引き続き子どもや保護者のニーズ把握に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃体験できないことをメニューとして提供するために、どのような内容が望ましいかを検討し、参加促進を図る必要がある。併せて、陶芸体験学習の移管や英語スクールに替わる新たな講座の実施に向けて検討する。

基本事業3 学習活動の促進

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R3実績	R4実績	R7目標	
2-3 学習活動の促進	市民 芸術文化団体	活動の成果を発表する。	①市民芸術祭出品数	①点	① 2,237	① 2,325	① 3,500	C(文化・芸術を除く) 地区公民館の催事件数が回復している。中央公民館及び地区公民館主催の講座等は、オンライン開催等、実施方法を工夫し参加者数は増加した。今後も新しい生活様式を踏まえ、工夫を重ねながら学習活動の促進に努める。
			②市民芸術祭出演者数	②人	② 1,310	② 2,100	② 3,500	
			③地区公民館催事発表件数	③件	③ 1	③ 7	③ 11	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	R3実績	R4実績	R7目標		
2-3-1 社会教育関係団体 活動支援事業	社会教育関係団体	自主的な活動を充実、継続させる。	・市地域婦人団体連絡協議会や市PTA連合会事業への協力、補助金の交付 ・大船渡ユネスコ協会への一部事務支援	①主催事業数	①事業	① 6	① 6	① 6	A 社会教育団体への支援を行い、社会教育活動の促進を図っている。 補助金交付団体では、自主的な活動の充実や継続に努めている。	● 市の各種団体の支援施策の統合を含めた支援体制と補助金の在り方について検討を進める。
				②補助金額	②千円	② 227	② 200	② 200		

施策2 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R3実績	R4実績	R7目標	
2 生涯学習の推進	市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る。	①「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 21.3	① 26.8	① 40.0	C(文化・芸術を除く) 市民意識調査では、「何らかの学習活動に取り組んでいる」市民の割合は増加傾向にあるものの、その成果を活かしている市民の割合は減少した。市民の学習意欲をさらに促進するため、ニーズに応えた学習機会を提供するとともに、学習の成果を生かす場の創出に努める必要がある。
			②「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合(同上)	②%	② 61.0	② 48.1	② 60.0	
			施策の方向性(重点項目、課題等)					
・社会教育施設の計画的な機能改善と適切な維持管理による生涯学習環境の充実 ・広報、SNSを活用した生涯学習関連情報の効果的な発信 ・リカレント教育(社会人の学び直し)としての学習機会の提供 ・体験学習プログラム等幅広い世代から関心と呼ぶニーズに沿った魅力的な学習プログラムの提供								